

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	ゼロカーボンシティ推進課	事業No.	144
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	新規
		開始	R3	終了	R6
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		11	地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	
	分野別計画			21'いいだ環境プラン第5次改定版	
				飯田市地球温暖化対策実行計画	
法令・例規等			地球温暖化対策の推進に関する法律		
			飯田市環境基本条例		
事業目的	対象	市民、事業者			
	意図	気候変動抑制に資する二酸化炭素排出量削減を推進し、アクションを起こします。			

2 事業内容

3年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	<p>家庭部門及び産業・業務部門のCO2削減を図るため、各家庭が夏の省エネを競う「家庭省エネコンテスト」を開催し、優秀者を表彰しました。また、企業の省エネやSDGsの取組を推進するための企業向けのセミナーを南信州・飯田産業センターと連携して開催しました。</p> <p>電気事業者、バス事業者との協働による市民バス循環線における「EVバス運行実証」を継続実施したほか、各種イベントにおいてEV自動車やEVバスのブースを設置して低炭素な交通手段への転換を推進しました。</p> <p>飯田版ZEH仕様に対する支援策として、令和4年度から開始する補助事業の制度設計を行いました。</p>	企業省エネの促進	196
家庭省エネの促進		73	
ISO進行管理		415	
自転車市民共同利用の推進		1,219	
旧飯田測候所・エコハウス管理		8,926	
低炭素車両維持管理		92	
消耗品費等一般経費		156	
その他の経費		21	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	家庭省エネコンテストの開催	回	1	1						
	企業省エネの意識啓発セミナーの開催	回	1	1						
	エコライフ市民向けイベントの開催	回	3	7						

3年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補正事項							
		12,222								
財源の状況	決算額	11,098	(そ) 旧飯田測候所建物使用料 960千円							
	国庫支出金	0	(そ) 旧飯田測候所電柱占用料 6千円							
	県支出金	0	(そ) レンタサイクル使用料 165千円							
	地方債	0	(そ) ふるさと寄附金 3,720千円							
	その他	4,851								
	一般財源	6,247								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	14	12,222	11,098	省エネルギー推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<p>企業を対象とした省エネやSDGs等のセミナー開催により、地域の事業者のそれらに対する意識の向上やニーズが見られるようになったため、その取組を後押しするための次の事業展開が必要です。また、家庭省エネコンテストは、より多くの参加による事業となるよう検討する必要があります。電気自動車は、急速な普及は困難です。充電インフラの整備進捗や技術開発など様々な状況や動向を見極めながら、補助制度等も活用して着実に取組を進める必要があります。</p>							
上記の課題解決のための有効策		<p>簡単かつ気軽に企業が省エネ等に取り組める支援策として、登録制による取組制度を構築し、企業の取組を後押しします。家庭の省エネについては、地域ぐるみ環境ISO研究会と連携することで、より広い取組となるよう検討します。EVの導入にはコストがかかるため、新たな導入補助の構築や、利用者増に向けた啓発事業に取り組みます。</p>							
次年度に向けての取り組み		<p>新規事業として、「いいだゼロカーボンチャレンジ登録事業所制度」を構築し、企業の省エネを含むゼロカーボンの取組を推進・支援します。また、地域ぐるみ環境ISO研究会の環境一斉行動週間と連携して家庭省エネ事業に取り組みます。長野県と連携してEVの様々なインフラ整備を進めるとともに、市公用車の次世代自動車の導入を積極的に進めます。</p>							